

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成22年12月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成22年12月1日～平成22年12月28日

52件

(2) 内訳

① 食品安全委員会関係	16 件
委員会	2 件
広報・ホームページ・メールマガジン	13 件
リスクコミュニケーション	1 件
食品安全基本法	0 件
② 食品の安全性関係(注1)	14 件
評価全般	1 件
化学物質系	8 件
生物系	1 件
新食品	3 件
BSE	1 件
その他	0 件
③ 食品一般関係(注2)	20 件
化学物質系	2 件
生物系	0 件
新食品	0 件
プリオン	0 件
衛生関係	8 件
食品表示関係	8 件
その他	2 件
④ その他	2 件

注1) 食品の健康影響評価に関する事、ファクトシートの内容に関する事等、主として食品安全委員会の行う科学的評価に関する事項

注2) 食品一般に関する事項及び表示や衛生管理等、主としてリスク管理に関する事項

(3) 問い合わせの多い質問等

Q LDL コレステロールの数値が高く、トランス脂肪酸が心配なのですが、トランス脂肪酸の概要を教えてください。

A :

トランス脂肪酸は、トランス型の二重結合を持つ不飽和脂肪酸です。天然では反すう動物の肉や乳に少量含まれ、工業的なものではマーガリンやショートニングなどの加工油脂とこれらを使用して作られる食品などに含まれています。

その作用としては、いわゆる悪玉コレステロール (LDL コレステロール) を増加させ、善玉コレステロール (HDL コレステロール) を減少させる働きがあるといわれています。また、動脈硬化などによる虚血性心疾患のリスクを高めるという報告もあります。

日本人の一般的な食生活の中ではトランス脂肪酸の摂取量は少ないと考えられますが、脂肪の多い菓子類をよく食べるなど偏った食事をしている場合は、平均を大きく上回る摂取量となる可能性があるため、注意が必要です。

食品安全委員会では、その時点で知られているトランス脂肪酸に関する信頼性のある情報をわかりやすくまとめて国民に情報提供するため、平成 16 年 12 月にファクトシート(科学的知見に基づく概要書)を作成し、必要に応じて更新しており、平成 22 年 12 月には、国際機関におけるリスクに関する科学的知見や諸外国における対応、国内の動きなど、新たな情報が蓄積されたことから、ファクトシートを更新しました。

また、平成 22 年 3 月に自ら評価の案件としてトランス脂肪酸を選定し、同年 4 月から新開発食品専門調査会において現時点での国内外の最新の知見に基づいたリスク評価を行っており、評価結果が取りまとめられた際には、更に情報提供を行っていきます。

なお、トランス脂肪酸のみならず、脂肪のとりすぎ、飽和脂肪酸や食事性コレステロールの多量の摂取も心疾患のリスクを高めるため、日頃から脂肪の摂取について注意し、動物、植物、魚由来の脂肪をバランスよくとることが大切です。

<参考>

- ・ファクトシート「トランス脂肪酸」（食品安全委員会）
<http://www.fsc.go.jp/sonota/54kai-factsheets-trans.pdf>
- ・季刊誌「食品安全」第25号（食品安全委員会）
http://www.fsc.go.jp/sonota/kikansi/25gou/25gou_2.pdf
- ・食品安全確保総合調査 食品に含まれる化学物質等の健康影響評価に関する情報
収集調査（食品安全委員会）
<http://www.fsc.go.jp/fsciis/survey/show/cho2006033104b>
- ・トランス脂肪酸に関する情報（消費者庁）
<http://www.caa.go.jp/foods/index5.html>
- ・トランス脂肪酸に関する情報（農林水産省）
http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/